

天 沼 小 学 校

「知りたい」のその先へ ― 世界はふしぎでいっぱいだ！

今の学校図書館

校歌「世界は不思議でいっぱいだ」を学校図書館運営のコンセプトとして掲げ、児童の興味をあらゆる分野へと広げ、世界を知り、探究心を育むことのできる場として日々進化していくことを目指す。「知りたい」を叶え「もっと知りたい」を育てる環境作りを心掛けている。



「世界は不思議でいっぱいだ」作者
谷川俊太郎氏の特設コーナー

本校は令和6年度に「学校図書館活用実践校」に選定され、学校図書館をあらゆる教科の学びに生かすため、学校全体で研究・実践を進める機会を得た。同年度の教職員研修では、情報活用の指導者としてのスキルアップを図るとともに、「学校図書館を活用した児童の主体的な学び」について6年間を見通した計画的な取り組みを検討・実施した。こうした授業実践の成果は、実践校選定以後も校内で共有され、継続して実践されている。

学校図書館の運営

- 学校図書館活用のための年間指導計画を作成し、計画に沿った読書活動、情報活用指導の実践を図っている。学校図書館運営委員会が中心となり、学校図書館を学びにどう生かすか検討し運営にあたっている。
- 学校支援本部と連携し、運営面やお話会等の読書活動において支援を得ている。

1 年間の主な活動

- 「学校図書館だより」を毎月発行し、図書館活動や図書情報を発信して利用を促進。
- 教職員による全校一斉読み聞かせイベントを毎年開催。
- 年間を通じ学校支援本部による全学級でのお話会と読み聞かせを計画的に実施。
- 学期ごとに設けられた読書旬間では、図書委員会を中心とした学校図書館イベントを開催。

図書委員会企画イベント
「図書委員クイズ」や「動画クイズ」
「POP」「読書ビンゴ」を企画。楽しみながら分類や配架ルールを学んだり、新しい本と出会える工夫をした。



特色ある取組

- 学校図書館でのすべての授業で電子黒板を活用している。児童のタブレットと連動させた情報活用指導や図書館利用指導も計画的に実施している。

ムーブノートを活用した
ツールを作成して図書
館の配架ルールを指導



- 児童は「図書ファイル」を6年間活用し、読書記録や情報活用ワークシート等を保存。読書活動や学びの積み重ねを意識できるようにしている。
- 「だれもが使いやすい学校図書館」をめざし館内のUD化に取り組んでいる。外国語を母語とする児童等に配慮した館内表示や外国語の図書・マルチメディアデジー図書の整備、調べ学習での多言語資料の提供等を進めている。
- 小中連携活動の一環として、連携校(沓掛小・天沼中)と協働での読書活動を10年以上継続して実施している。小中9年間を見通した情報活用能力育成についても共に考え情報交換した。
- 「図書クラブ」では読書や本の情報交換のほか、ブックカバー、本の帯、しおり作り等も楽しんでいる。



「図書クラブが作成した本の帯」

これからの学校図書館



「調べて、まとめる」プロセスを大きく掲示

- 主体的学びの肝となる「課題設定する力」の育成
教科との整合を図りながら、情報活用能力を育成するため、学校全体で継続的に取り組める体制づくりを進める。ICT 担当等と連携し、利用指導に関する体系的な表の作成をめざす。
- 「課題を読み取るための読解力」の育成
読解力の基盤作りとして読書活動の質的充実を図る。楽しむ読書に加え、読書を通して自分の考えを広げ深め、内面の成長を促す言語活動や読書活動を、発達段階に応じて工夫していく。
- 「6 年間の学びを共に創り出す拠点」
学年間で重複する調べ・探究学習のテーマを整理し学びの系統性を整える。また情報ツールを充実させ、多様な情報にアクセスできる環境を整備し、学校図書館の機能を高め、活用をさらに広げていきたい。